

有限会社 細川樹脂



COMPANY DATA

業種	製造業
事業内容	プラスチック精密加工・組立・販売
創業	1976年1月
代表者	代表取締役 細川真澄
所在地	川崎市中原区荻宿30-1
従業員数	13名（正社員9名 非正社員4名）

企業紹介

創業以来、樹脂加工の専門メーカーとして、樹脂加工技術を追求。樹脂は金属に比べて変形しやすく精度の維持が難しいが、同社では樹脂加工業界で先駆けてNC（数値制御）機械を導入するなど、独自の加工ノウハウを築き上げてきた。また2012年には環境省が策定した「エコアクション21」の認証登録を取得した。



「環境経営」と「働き方改革」に取り組み、 売上高の増加と労働環境の改善を両立



- ①従業員の多能化 ②時間外労働の削減と賃金改善 ③休暇取得促進 ④全社員参加の毎日朝礼

1 経営課題 Task

以前は大量生産に合わせ、従業員が作業を分担して製品を製造していました。しかしリーマンショックにより生産量が大きく減少し、従業員の手待ち状態が生じるように。そもそも流れ作業では作業が分断化されるため、完成品に対する責任感を希薄にさせてしまうという懸念もあり、業務改革は緊急の課題でした。

2 取組概要 Approach

従業員の技術向上、工作機械の導入を積極的に進め、一人で全工程に対応可能な体制を構築。従業員が主体的に工程品質確保に取り組むようになりました。また、エコアクション21の導入により、作業環境や工程の見直し意識が定着し、効率化に繋がっています。同時に全従業員参加の朝礼を毎日行い、コミュニケーションを活性化することで、休暇を取得しやすい環境を整備しました。

3 実施効果 Effect

業務効率の向上、仕事量の平準化により、売上高が増加。また労働環境においては残業時間削減のほか、従業員の有給休暇取得日数も5日以上を達成しました。残業代が減少した分については基本給の増加など待遇改善により、従業員に還元。従業員にとってこれまで以上に安心して働ける職場づくりが実現されました。

経営者 INTERVIEW



「製品の品質」＝「従業員の品質」と考えています
当社では製品に対する作業者の愛情が、品質を安定させる源泉だと考えています。働き方改革や環境経営においても従業員の意見が第一。従業員が自主性を持って進められるよう、従業員をリーダーに置き、チームで業務改善に取り組みました。ただし働き方改革は、経営面で見ると、短期的にはマイナスの影響も生じがちです。これを長期的な視点に立って継続的にいき、プラスにしていくことが経営者の役割だと思います。

代表取締役 細川 真澄

今後の展開

- ・持続可能な会社経営
- ・ワークライフバランスの向上
- ・ニーズに合わせた働き方の実現

社労士による取組評価

独自の環境経営システムの構築・運用を通じて、業務効率化の推進と残業時間の減少、基本給の増加等による待遇改善により、従業員のやる気を引き出すことに成功しています。

一方で、勤務ルールの一部について、必ずしも明文化に至っていない部分も見受けられましたので、今回、就業規則の見直しを支援させて頂きました。ルールが分かりやすくなり、従業員にとってより働きやすい職場環境づくりに繋がるのではないかと思います。社長は今後も更なる働き方改革を進める意向であり、同社のますますの発展が期待されます。